

GOLD

- Global Standard -



カネツ商事株式会社

資産保全の為に知っておきたい“金の特性”

現在、世界的にもインフレは加速しており、日本も例外ではありません。インフレが加速すると資産の運用方法によっては、資産価値が目減りしてしまう可能性があります。一般的には資産の運用方法として、預貯金、保険、不動産、株式、債券などがありますが、金はこれらとは異なり、インフレが進んでも価値を維持する力があります。また、2020 年新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界各国は金融市場混乱に対応するため、未曾有の金融緩和政策を行ったことや 2022 年ロシアのウクライナ侵攻など資産としての金に対する需要が増加し続けています。

金は希少性、美しさ、不変性といった特性に加え、インフレヘッジ、危機の際の逃避資産、ポートフォリオの分散効果など、資産運用における様々な魅力を持っています。長期的な価値の保存や、経済の不確実性に対するヘッジとして、金は投資家にとって魅力的な選択肢の一つと言えるでしょう。

NY ゴールドの価格は 1971 年のニクソンショック※(当時 1toz=35 ドル) から約 50 年で 2,700 ドルと価値が 77 倍にもなりました。(ドルの価値は 77 分の 1 に。)

※ 1971 年 8 月 15 日、ニクソン米大統領が「米ドルと金地金との交換を停止する」と発表。ドルの価値は揺らぎ、13 日後の 8 月 28 日に、日本は 1 ドル=360 円の固定相場制を廃止。

さまざまな 金の特性



■ 無価値にならない実物資産

実物資産である金は、株式や債券などの発行体の信用リスクがない権利のみの存在や、仮想通貨等の実体の無い資産とは違い、外的要因で無価値になる事は無い資産です。

■ 希少性と不変の価値が魅力

これまで人類が採掘してきた金の総量は約 18 万トンです。これはオリンピック公式競技用プール約 3.8 杯分。そして、地中の採掘可能な埋蔵量は 5 万トンで、同じように競技用プールに換算すると約 1 杯分しかありません。そのため希少性は高まり易く、酸化も腐食もしないという特徴がありますので、時間の経過にも非常に強い資産です。

■ 世界共通の資産価値を持つ為、換金性も高い

金は有史以来富や権力の象徴であり、世界共通の資産価値を認められています。その為、世界の中央銀行は新興国を中心に金保有量を増加させ、外貨準備における金の比率を高めています。

■ インフレに強い

インフレ時には、物価が上昇すると同時に通貨の価値が相対的に低下する事になります。このため、インフレに備える商品として金は買われやすくなります。

■ 有事の金

新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の減速やロシアのウクライナ侵攻など政治的・軍事的な緊張の高まりといった、政治・経済・社会情勢不安時には価格が上昇する傾向があります。

金の価格変動要因とは

不安定な世界情勢の中、価格は史上最高値を更新中！

2010 年代後半までは金価格も大きな相場の変化もなく安定して推移してきました。しかし、2020 年に発生した新型コロナウイルスの感染拡大に伴って世界経済は大きな打撃を受け、先行きの見通せないパンデミックが投資家の不安を招き、国内金価格は 1 年で約 2,000 円 /g 以上も上昇しました。2021 年に入ると経済活動が徐々に回復したように見えたが、翌年 2022 年、ロシアによるウクライナ侵攻が開始されます。ロシアが米ドルの決済圏から締め出されたため、世界共通の資産として金の価値が再認識され需要が増加、1 年も経たないうちに国内金価格は 8,000 円 /g 台目前まで高騰しました。さらに、2023 年後半にはイスラム組織ハマスとイスラエルの衝突が勃発し、中東情勢の緊迫化により、12 月には 10,000 円 /g を突破。2024 年に入ってから金価格はさらに上昇し続け 13,000 円 /g を超え、史上最高値を更新中です。

↑ 上昇要因 ↑

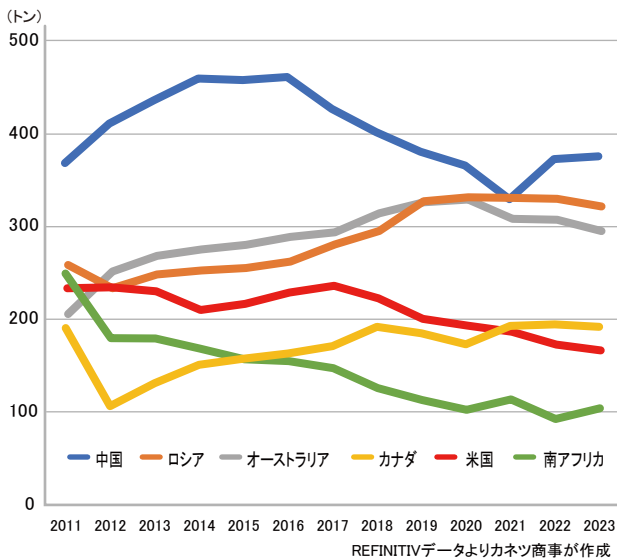
地政学リスク拡大	投機マネー流入
金融不安	景気拡大
インフレ進行	金 ETF 残高増加

↓ 下降要因 ↓

地政学リスク減少	投機マネー流出
金融安定	景気縮小
デフレ進行	金 ETF 残高減少

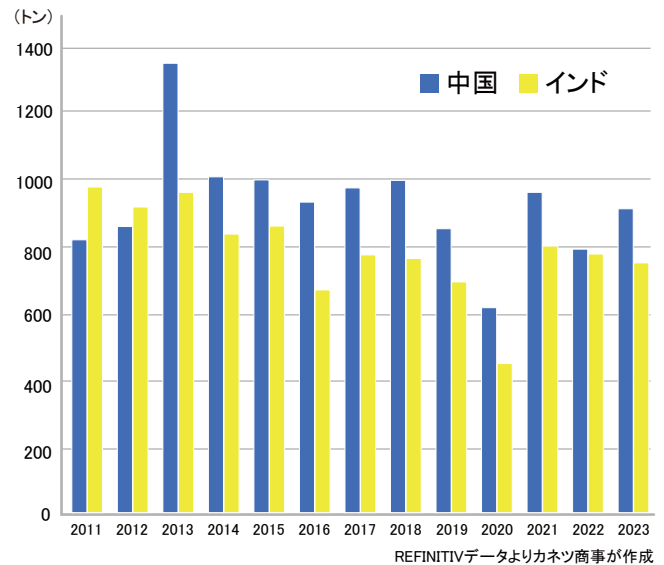
需要と供給

主要国の金鉱山生産量推移(2011年～2023年)



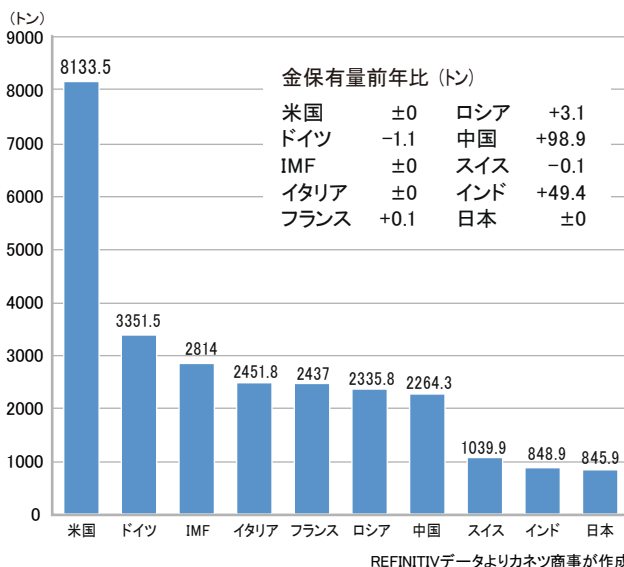
19 世紀後半から南アフリカが長らく世界のトップでしたが、生産コストの増大、鉱山施設の老朽化などの原因により、生産量は年々減少。2007 年には中国に 1 位の座を奪われました。中国では経済成長に伴い、金消費の拡大が続いており、金鉱山に対する投資も活発化していますが、近年は環境規制強化のあおりを受けて生産量もやや減少しているようです。

中国インドの宝飾需要 (2011 年～ 2023 年)



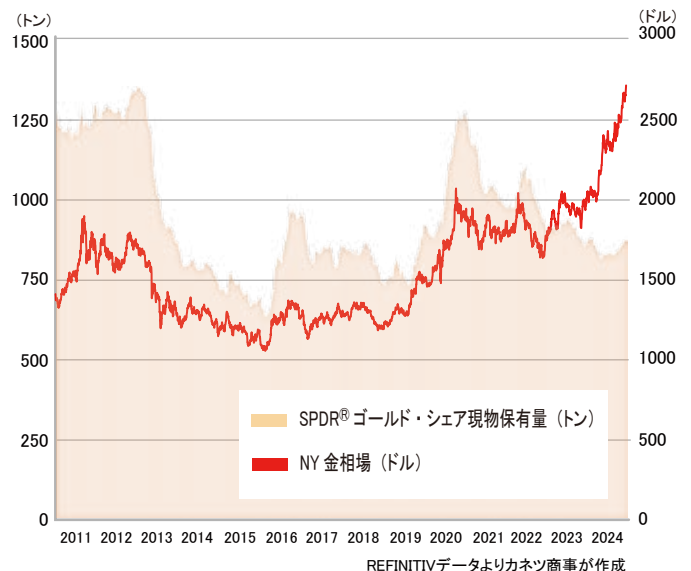
中国とインドは歴史的に金の選好性が強い国の為、需要の大半を占めております。2000 年代以降、両国は工業化による経済成長の影響で、豊かになった一部の人が宝飾品として金を購入しました。そして近年は、中国やインドの中央銀行がインフレなどのリスク回避のため金の購入を増やしており、今後も需要は増え続けるのではないかとされています。

主要国中央銀行の金保有量 (2024 年 8 月 現在)



インフレにより、金の価格は上昇傾向にあり、無価値となるリスクの少ない金が支持される傾向にあります。そのようなことから、世界各国の中央銀行では、国家が破産する可能性や世界的な経済の不安定性が高まる場合など、万が一のリスク時に備え、支払準備金として大量の金を保有しており、中でも米国に至っては、常に 8000 トン以上の金を保有しております。

SPDR® ゴールド・シェア現物保有量と NY 金相場



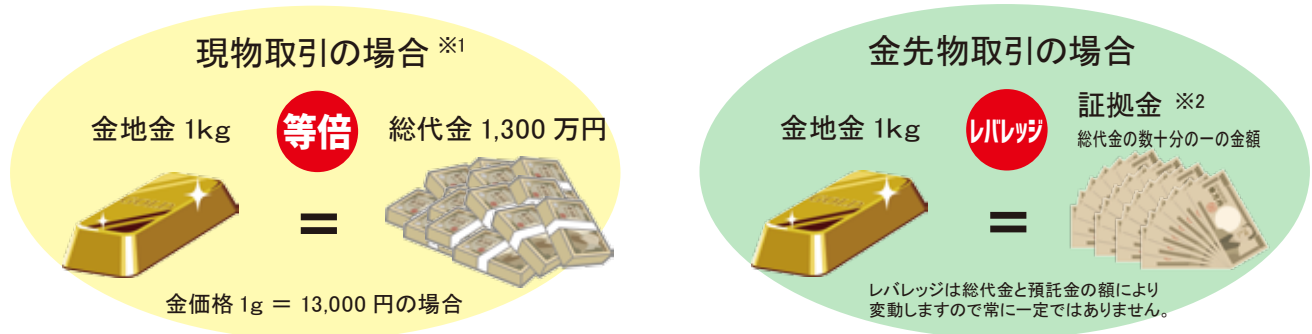
金上場投資信託である「SPDR® ゴールド・シェア」は価値の裏づけとして、発行額に応じた金現物を保有しております。世界最大の金ETFである「SPDRゴールドシェア」の金現物保有高の増加は近年の金需要の上昇の一因とも言われており、その増減の把握は投資需要の動向を予測する際には欠かせない要素のひとつとなっています。

商品先物取引とは？

将来の特定の期日に、ある商品を買ったり売ったりすることをあらかじめ約束して取引を開始しますが、その期日まで反対売買を行い取引を終了しておけば、実際に現物を受け取ったり、渡したりする必要はなく、差金決済を行うことができます。よって、上がると思えば「買い」契約を、下がると思えば「売り」契約を行って期日までに取引を終了すれば、FX などと同様に差額を狙えることになります。

商品先物取引は「証拠金」を預託して行う取引です。

預託した「証拠金」の何倍もの金額の取引を行うことができますが（レバレッジ効果）
儲かるチャンスも大きい反面、損失を被るリスクも高い（ハイリスク・ハイリターン）取引です。



※1 実際に金地金を購入する場合には、上記の代金以外に消費税・手数料が必要です。

※2 大阪取引所の採用するスパン（SPAN）で計算した取引所証拠金所要額（維持証拠金）を基に所属金融商品取引業者が定めています。

SPAN®とは、CME が 1988 年に開発したリスクベースの証拠金計算システムで、The Standard Portfolio Analysis of Risk の略です。SPAN は、全世界主要各国の先物取引で採用されているグローバルスタンダードのシステムであり、大阪取引所の先物取引においても採用されています。SPAN は、各市場参加者が保有する先物等の金融商品のポートフォリオ全体においても採用されています。SPAN は、各市場参加者が保有する先物等の金融商品のポートフォリオ全体におけるリスクを包括的に見積もります。

取引計算例（金標準先物）



金標準先物の損益早見表

単位（円）

	10円	50円	100円	200円	300円	500円
1枚	10,000	50,000	100,000	200,000	300,000	500,000
5枚	50,000	250,000	500,000	1,000,000	1,500,000	2,500,000
10枚	100,000	500,000	1,000,000	2,000,000	3,000,000	5,000,000
20枚	200,000	1,000,000	2,000,000	4,000,000	6,000,000	10,000,000
50枚	500,000	2,500,000	5,000,000	10,000,000	15,000,000	25,000,000
100枚	1,000,000	5,000,000	10,000,000	20,000,000	30,000,000	50,000,000

※差損益＝値幅 × 倍率（1,000 倍） × 枚数 ※手数料、税金などは含まれていません。

金価格換算早見表

米ドル / 円 NY Gold (toz)	¥140	¥145	¥150	¥155	¥160	¥165
\$3,000	¥13,503	¥13,986	¥14,468	¥14,950	¥15,432	¥15,914
\$2,900	¥13,053	¥13,519	¥13,986	¥14,452	¥14,918	¥15,384
\$2,800	¥12,603	¥13,053	¥13,503	¥13,953	¥14,404	¥14,853
\$2,700	¥12,153	¥12,587	¥13,021	¥13,455	¥13,889	¥14,323
\$2,600	¥11,703	¥12,121	¥12,539	¥12,957	¥13,375	¥13,792
\$2,500	¥11,253	¥11,655	¥12,057	¥12,458	¥12,860	¥13,262
\$2,400	¥10,803	¥11,188	¥11,574	¥11,960	¥12,346	¥12,731

国内金価格 = NY 金相場 (ドル / トロイオンス[※]) ÷ 31.1035g × 為替相場

※ トロイオンスとは？

金や銀など貴金属を測るために使われる重量の単位で、略してオンス (OZ) とも言います。国際的な金相場の市場は、グラム (g) ではなくトロイオンス (toz) が使われています。これが世界標準で現物市場もニューヨークやロンドンの金先物市場価格も、1トロイオンスあたり何ドルと価格が表示されます。

金標準取引取引要綱

金先物取引の種類	現物先物取引
取引対象	純度99.99%以上の金地金(標準品)
倍率	1,000倍
呼値とその値段	1gあたり1円刻み
取引単位	1Kg(1枚)
限月	12ヶ月以内の偶数月
帳入値段	通常日:終値
取引最終日(納会月)	受渡日から起算して4営業日前に当たる日
受渡日	毎偶数月の最終営業日の正午まで (12月の受渡日は28日の正午まで、受渡日が休業日又は大納会に当たるときは順次繰り上げ)
最終決済価格	当月限納会日:日中立会における出来高加重平均価格(VWAP)
制限値幅	通常制限値幅 5% サーキット・ブレーカー発動時の制限値幅 【第1次拡大時制限値幅】10% 【第2次拡大時制限値幅】15% (※1)
取引時間	【日中立会】8:45 ~ 15:45 【夜間立会】17:00 ~ 翌6:00
証拠金額	大阪取引所の採用する VaR 方式 ^(※2) で計算した取引所証拠金所要額(維持証拠金)を基に決定

※1 過度な値動きによって生じた相場の過熱感を鎮める目的で、取引を一時中断する措置の事をサーキット・ブレーカー (SCB: Static Circuit Breaker) 制度といいます。

※2 VaR 方式とは、Value at Risk 方式の略であり、特定のポジションを一定期間保有すると仮定した場合において、将来の価格変動により一定の確率の範囲内で予想される損失をカバーする額を計算する方法

**東京本社**

〒103-0005

東京都中央区日本橋久松町 12 番 8 号

TEL.03-3662-0111（大代表）

FAX.03-3662-3603

名古屋支店

〒460-0003

愛知県名古屋市中区錦 1 丁目 4 番 25

伏見 IT ビル 1F

TEL.052-204-8686 FAX.052-221-1571

大阪支店

〒540-0033

大阪府大阪市中央区石町 1 丁目 2 番 9 号

天満橋シルバービル 7F

TEL.06-6942-8686（代表）FAX.06-6942-8735

福岡支店

〒810-0801

福岡県福岡市博多区中洲 5 丁目 4 番 18 号

ツイン・Kビル 1F

TEL.06-6942-8686 FAX.06-6942-8735

【免責事項】

◆本資料は、カネツ商事株式会社（以下「当社」といいます。）が、先物取引の売買の推奨、勧誘を目的としたものではありません。◆当社は、本資料の記載内容が真実かつ正確であり、その内容に重要な事項の記載が欠けていないことや当該資料に記載された価値を保証又は承認するものではありません。◆本資料に含まれる情報につき、いかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるべきものであり、本資料に含まれる情報の使用による結果について、当社は何ら責任を負うものではありません。◆本資料の内容はすべて作成時点のものです。その後の経済環境等の変化により、状況が変わっている可能性があり、今後予告なく変更されることがあります。◆本資料に含まれる情報は、その正確性が客観的に検証されているものではありません。また、本資料はお客様が必要とする全ての情報を含むものではありません。◆当社は、お客様が本資料を利用したこと又は本資料に依拠したことによる直接・間接の損失及び逸失利益を含むいかなる損害についても一切責任を負いません。最終判断はお客様ご自身においてのみなされなければならず、当該購入に関する一切の責任はお客様ご自身にあります。◆本資料の著作権は当社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

【取扱商品のリスクについて】

商品先物取引を行うに際して【大阪取引所（貴金属市場・ゴム市場・農産物市場）

■取引の際には、契約締結前交付書面等お客様向け資料をよく読み、取引の内容や仕組み、特性、リスクについて十分にご理解、ご納得いただき、お客様自身の判断と責任において行ってください。■先物取引は元本や収益が保証される取引ではありません。■先物取引は、商品市場の相場変動や、その他の商品の価格または商品指数の変動によって、利益だけでなく損失も生じるおそれがあります。市場価格が予想とは反対方向に変動したときには、短期間のうちに証拠金の大部分、またはその全てを失うこともあります。その損失は、預け入れた証拠金の額を上回る場合があります。■先物取引は、少額の証拠金でその何十倍もの金額の取引を行うというレバレッジ効果があるため、取引の額が取引に必要な証拠金の額を上回る可能性があります。この特性から、大きな利益が生じる可能性がある一方で、損失が取引に必要な証拠金の額を上回るおそれもあります。■取引を行うには、事前に証拠金の預託が必要です。預託する証拠金の額は、VaR 証拠金に基づき AI ゴールド証券株式会社が定める「証拠金所要額」以上の金額です。AI ゴールド証券株式会社の VaR 証拠金掛目は通常 100%ですが、流動性又は建玉の集中度合いに照らして、お客様が保有する建玉が非常に大きい場合には、お客様の取引証拠金所要額の割増しを行います。また、指数先物においては、お客様が保有する銘柄のポジション、限月によって、証拠金額および証拠金所要額が異なります。■相場変動により値洗い損失（計算上の損失）となった場合、追加で証拠金の差入れが必要となります。また、先物市場の状況によって証拠金額が引上げられたり、株式市場の状況によって証拠金に充当する代用有価証券の充当価格が引き下げられたりしたことにより、証拠金不足が生じた場合にも、追加で証拠金の差入れが必要となります。所定期限までに証拠金を預託しない場合、損失を被った状態で建玉の全部が決済されます。その決済で生じた損失についてもお客様が責任を負うことになります。なお、追加の証拠金の額は商品や相場の変動によって異なります。■取引に際しては委託手数料の支払いが必要で、その金額は 341 円～ 39,600 円です（税込、1 枚あたり、いずれも商品・取引コースにより異なります）。委託手数料のうち 9 割が媒介手数料となります。また、限日取引（金・白金）については、委託手数料とは別に口座管理料 3,300 円（税込、年額）の支払いが必要となる場合があります。インターネットコースにおける電話注文は、商品にかかわらず 1,100 円（税込）が委託手数料に加算されます。■先物市場で制限値幅に達したような場合は、転売または買戻しによる決済ができないなど、意図した通りの取引ができないことがあります。また、市場の状況によって、取引所が対象商品の制限値幅を拡大した場合、損失の額が想定額を上回ることがあります。■先物取引はクーリング・オフ対象外です。先物取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用はありません。（2024 年 11 月 1 日現在）

【取引に関するご相談】

《当社お客様相談窓口》 カネツ商事株式会社 管理部 TEL. 03-3669-6668

《所属商品先物取引業者相談窓口》 AI ゴールド証券株式会社 業務管理部 TEL. 03-6861-8383

《日本商品先物取引協会》 TEL. 03-3664-6243

※AI ゴールド証券株式会社の企業情報については、AI ゴールド証券株式会社および日本商品先物取引協会の各ホームページで閲覧できます。

◇カネツ商事株式会社は、AI ゴールド証券株式会社を所属商品先物取引業者とする商品先物取引仲介業者です。

◇当社は商品先物取引を商品先物取引仲介業により取扱います。

【取引参加者】

AI ゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町 12-8 TEL. 03-6861-8181

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 282 号 商品先物取引業者

加入協会：一般社団法人金融先物取引業協会 日本証券業協会 日本商品先物取引協会

【仲介業者】

カネツ商事株式会社 東京都中央区日本橋久松町 12-8 TEL. 03-3662-0111（大代表）

《金融商品仲介業》 所属金融商品取引業者：AI ゴールド証券株式会社 金融商品仲介業者 関東財務局長（金仲）第 579 号

《商品先物取引仲介業》 所属商品先物取引業者：AI ゴールド証券株式会社 商品先物取引仲介業者（農林水産・経済産業省登録）第 9 号

